

# かみ

議会だより



明 け ま し て  
お め で と う  
ご ざ い ま す

12月定例会  
第24号



頑張って  
書きました!

## - CONTENTS -

- 年 頭 挨拶 2
- 住民の声 届くか (13人が一般質問) 6~12
- 委員会視察研修報告 14~15
- この人 ここにあり 16

(香住区 柴山小学校書き初め大会)

# あけましておめでとうございます



香美町議会  
議長 吉田 範明

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願います。

新春をご家族お揃いで健やかにお迎えになつていくことと思ひます。今年も町民皆様にとつて良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

今年、卯年です。兎の穏やかな様子から家内安全、跳躍する姿から飛躍を表すところです。安心・安全の提供はもちろんのこと、「飛躍」の年としなければと思ひます。

昨年、香美町にとつては8月余部新架橋の完成、10月山陰ジオパーク世界認定、11月新型車両「はまかぜ」導入、12月鳥取豊岡宮津自動車道路の「余

部道路」完成など社会資本整備が進んだ年でありました。

今年、これらをかか産業振興、町政発展に結びつけ、香美町をどう「飛躍」させていくのかの提言・提案が求められます。議会も心して取り組みねばと考へます。

昨年は、「行動する議会」をめざして議会改革を進めてまいりました。今年、は、「会派制」の導入に踏み切ります。「行動する議会」を一步でも前進させてまいりたいと思ひます。「他人を変えることはできません。周りを必要にするには自分が変わる必要があります」誰でも成功は約束されていま

せん。でも成長は約束されていません」成長するために毎日努力することが大切ですし、良いセミナー・講習会に出て話しを聞いたり、本を読んで勉強したりして自分の価値観を変えることも必要でしょう。そのためにも志を同じくするものが相集い、しっかりと調査・研究・研鑽を積む「受け皿」をつくることにしました。「株を守りて兎を待つ」(いつまでも古い慣習にこだわって融通のきかないこと)ではなく積極的に行動し「率先垂範」を肝に銘じていこうと思ひます。

議長

吉田 範明

副議長

寺川 秀志

議員

西坂 秀美

岡田 哲夫

森田 公男

岸本 正人

植田 隆博

谷口 眞治

西川 誠一

小林 勝利

上田 幸明

浜上 勇人

山本 賢司

西村 伸一

吉田 増夫

(議席順)

# 10月臨時会 補正予算

平成22年10月臨時会には、一般会計補正予算(5号)が上程され、原案どおり可決しました。



## 一般会計補正予算

### 質疑

問 香美町進学対策協議会委員25名の中に校長、教職員が含まれているが

答 教育問題については教員がかかわっていく意味があります。

問 魅力あふれる香住海岸事業費50万円の中身は

答 ジオパーク世界認定をPRするための横断幕、看板等の設置です。

## 請負変更契約

1. 契約の目的 林道本谷線 法面改良工事
2. 契約の相手方 株式会社 今後建設
3. 契約の内容 請負金額「金48,510,000円」を「金52,228,050円」に変更

◆工法変更によるものです

問 地すべり災害(村岡区宿)の復旧工事はいっから行なうか

答 調査の範囲、調査、観測機器の設置を行ない雪解け後になります。

# 11月臨時会

## 条例改正

特別職、一般職の給与・期末手当を4月にさかのぼって削減する条例を可決しました。

◆香美町町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正

期末手当の支給率を0.15月削減することに伴い条例の一部を改正します。(町長は期末手当なし)

◆香美町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正

人事院勧告により、一般職の給与を0.1%削減、期末勤勉手当を0.2月削減することに伴い条例の一部を改正します。

### 質疑

問 人事院勧告は全国へはスだが町内の実状をどうとらえているか

答 町は早期健全化基準からは脱却したものの景

気の低迷は続いています。人勸にそって進めてまいります。

問 不利益不遡及の原則は反古(ほんこ)になったのか

答 原則は尊重しなければなりません。人勸は官民格差を年間で調整するものと理解しています。

反対討論 谷口 眞治議員

香美町一般職の職員の給与を下げることは地域の生活水準を下げ、地域経済を悪化させることになら反対する。

賛成多数で可決

## 発議第5号

◆香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正

本町の財政状況を鑑み議会議員の期末手当の支給率を0.2月削減することに伴い条例の一部を改正します。

## 専決処分

1. 契約の目的 香住第一中学校体育館耐震補強・大規模改造工事の請負変更契約
2. 契約の相手方 株本・田野特別共同企業体
3. 契約の内容 請負金額「金136,500,000円」を「金138,773,460円」に変更

# 香住小学校体育館&村岡小学校校舎の 耐震診断費を予算化!!

## 小代区 雪寒基地格納庫(借地)を購入へ 444万円

第54回定例会は、12月7日～14日までの実質4日間かけて行なわれました。  
規約の改正、町道認定(3か所)、一般会計及び各特別会計の補正があり、人事院勧告を受けて一般職の給料等減額に伴う財政調整基金(貯金)1千117万円の積み上げ(一般会計)が主な補正となりました。主な内容は次のとおりです。



校舎工事に合流できるか「香住小体育館」

### 質疑

問 財政調整基金へなぜ積上げるのか。22年度末の基金残額はいくらになるか

答 人件費の減額補正は全体の財源の調整として必要な時期に使うために予備費ではなく財政調整基金としました。22年度末見込み額は、9億201万3千円です。  
問 444万1千円の増額は地権者の高齢化により買収を求められたと説明をされた。町の基本的

### 質疑

問 今後の考えを示せ  
答 小代区久須部の雪寒基地格納庫の土地です。地権者は特養へ入所、本人・家族からの申し出によります。  
施設は、昭和55年建設で30年経過、面積396㎡現況宅地(畑)の評価での買上げとなります。今後、借地においては、購入の事情が生まれてくるものと考えます。

問 香住小学校改築の説明会で「体育館の耐震診

### 賛成多数で可決

断をする」と言われた。「体育館には一切、手をかけない」と言ってきたではないか。理不尽だ  
答 さわる必要はないと考えてきたが、体育館のトイレ、倉庫の併設・駐車場のこともあり校舎と体育館の接続ができるなら、まず耐震診断を受けたいと考えたからです。担当が決ったような表現をしたのは申し訳ないと思います。



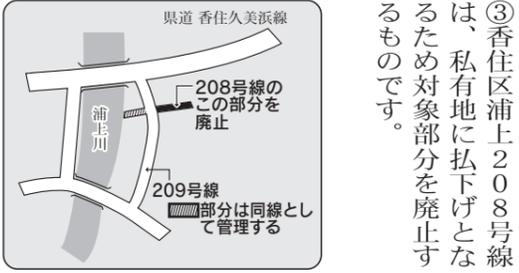
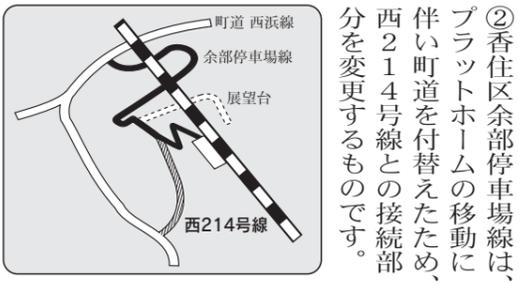
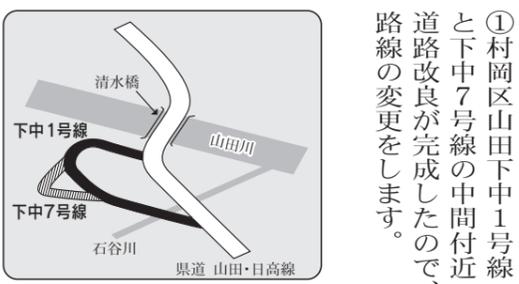
ようやく順番が回ってきたの? 「村岡小校舎」

## 反対討論 VS 賛成討論

山本 賢司 議員  
小林 利明 議員

職員給与を総じて2千956万2千円も削り、1千117万円も基金に積む。これは地域に不況  
反対討論の(地域の)消費力を抑え込むと同じ認識だか、議論に含まれる議案(11月臨時会の給  
風を吹かせることになる。町民の暮らしを思い、希望を発信するとは思えない。  
与の減給議案を良ししてきた以上反対とする訳にはいかない。

## 町道1路線を廃止し、3路線を変更



①村岡区山田下中1号線と下中7号線の中間付近道路改良が完成したので、路線の変更をします。  
②香住区余部停車場線は、プラットホームの移動に伴い町道を付替えたため、西214号線との接続部分を変更するものです。  
③香住区浦上208号線は、私有地に払下げとなるため対象部分を廃止するものです。

## 条例改正

### 公立八鹿病院組合規約の一部改正 指定障害福祉サービス事業が新たに加わる



障害者施設「エスポワールこじか」と合わせ新たなサービスが加わります

### 質疑

問 条文の中「香美町においては、旧村岡町、旧美方町の区域に限る」とある。香住区民は利用できないのか。対象者は何人か  
答 条文が誤解を招く表現になっており、病院事務局に申し入れていきます。香美町全域で現在22人が対象となります。

### 質疑

問 観光客が利用(展望台)する道路を廃止した理由は  
答 駅ホーム右側(山側)の道路は一般の方が通る道ではないこと。展望箇所は、今後遊歩道的対策で、町が一括管理します。

問 浦上208号線を廃止すると、浦上川へ通ずる部分を209号線とする根拠はなくなるのでは

### 質疑

ないか  
答 町道認定の方法は、起点から終点だけで決るものでなく道路区域の告示をすれば認定されると考えます。

### 反対討論

谷口 眞治 議員  
観光施設の展望台に通ずる道路は引き続き町道認定し、町の管理を明確化すべきである。



展望台への道路

# 町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月7日と8日に13名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



安心して安全な通学を



香美町の経済状況は厳しい

①長瀬町政3年目となる平成23年度行財政の取り組み、執行体制、重点施



岡田 公男 議員

## 平成23年度の取り組みを問う 町民負担の軽減を行ないます

策事業は何か、歳入の確保、予算規模、編成をどのように行なうのか②9月議会で伺っている実質公債費比率24.6%を踏まえて、町民負担の見直しを行なっているのか、無料化するものは何か

町長 ①総合計画、過

疎地域自立促進計画、第2次行財政改革大綱を踏まえて最小の経費で最大の効果を狙い、協働のまちづくり推進、福祉医療の充実・子育て対策の推進、農林水産業・観光・商工業の振興、教育環境の整備、持続可能な財政基盤確立5つの柱です。

3区で異っている公民館を同じ体制にすることを考えており、村岡区兎塚射添公民館に館長主事を配置、活動の活性化、県民交流広場事業の連携を進めます。財政収支見通しを基本に歳出抑制し本年並の予算規模を見込んでいます。②義務教育である小・中学校の通学費の無料化を考えています。



寺川 秀志 議員

今一番の町民の関心は職員給与の問題である。現在条例によって本給を5〜3%減額している。その条例も時限のため22年度で切れ、このままいくと本給に戻るが、町

町長 公務員は現在の経済情勢を考えると、恵まれていると思いますが、

給与と身分は法律で守られている中であって、香美町の財政が厳しいことで職員の理解を得ながら時限的な条例によってやむなく減額してしまいました。その給与の時限条例が22年度で終わる中であって、21年度決算で実質公債費比率が25%を切ったこともあり本給に対して現行の減額率(5〜3%)の半分を戻して減額したいと思っています。

職員給与は現行の減額率で継続すべきだ  
職員は法律によって守られています



「今がチャンス！宝の持ち腐れにならないように」

## 町の観光振興計画を策定すべき 来年度に向けて進めていきます



西川 誠一 議員

町長は産業振興の基本となるものは観光産業の振興であるという考えを

示している。

10月の世界ジオパークネットワーク加盟決定を受けてどのような方法で香美町をPRし、交流人を増やしていくのか。

また、香美町には観光振興計画が策定されていない。短期長期的な計画がなければ思いつきでそ

の場しのぎの施策になる。町は早急に計画を策定し観光振興施策をするべきと思うが考えを問う

〔町長〕 本年の五月には香美町ジオパーク推進協議会を設立しました。その中で、組織体制強化、環境美化、整備、PR等

の提言があり、積極的に取り組むことで交流人の増加を図っていききたいと思えます。

平成18年に国交省からアドバイザーの派遣を受け報告書が提出されており、現在はそれを基本として振興策を行っていきます。観光を軸とした産業振興を考えるなら計画は必要だととらえています。

## 行革大綱の財政規律自ら乱すのか 職員数減の中で人件費減らします



森 利秋 議員

行財政改革推進委員会が答申した行革大綱実施計画(案)の総人件費の抑制については職員の給与削減は当面の間継続する。と記載しているが行革委としては実質公債費比率

18%を切るまでは現在の下げ幅を続けるべきだとの厳しい雰囲気であった。来年3月に給与を元に戻す前提での総人件費を見ると22年と23年では1億円以上の増加となる。町長は半分戻しと言っているがそれでは行革大綱の人件費の抑制にはならない。大綱に反して町長自ら財政規律乱すのか

〔町長〕 私は行財政改革

において職員のカットはあげておりません。大綱の中では今の現状を続けることなくして、カットを続けることは書かせて頂きました。職員組合とお話をする中で半分戻しとなりました。一時的には人件費は上がることになりませんが、行財政改革、組織改革の中で職員数の削減をし、総人件費を減らしていくのも行革と考えています。

### 財政収支見通し

(単位：百万円)

	H21	H22	H23
歳入 町税	1,926	1,864	1,853
歳出 人件費	1,878	1,916	2,027

	H24	H25	H26
歳入 町税	1,847	1,835	1,829
歳出 人件費	2,014	2,002	1,926

この数値に納得できますか



住民の付託に…



役場にも必要と思うが

## 本庁舎に総合受付を設置せよ サービス向上のため検討しています



植田 隆博 議員

私の質問は答弁書を見なくても町長の今の思いとか考えを質問している

ので、下を向かず堂々と前を向いて答弁していたきたい。

務能力向上に役立つと思うが、設置する考えはないか

町長のマニフェストに『役所を町で最高のサービスセンターに』とある。

町長 町民が役場に入

庁舎入口に机をおいて来庁者の窓口として職員が順番で担当してはどうか、経費も掛からず職員の職

つて中を見たときどこに行けば用件が済むのかわからない人がおられることはあると思っています。そのような窓口を設けて

職員がしっかりと挨拶をして対応すれば感じのよい役場になるのではと思っています。今それを指示しております。

## 職員の意識改革・組織改編に提言する 提言の趣旨は理解できる。検討します



小林 利明 議員

職員は住民の意向に叶う仕事をする自覚と熱意が求められている。住民と共に考える現場主義を徹底して職員の意識改革が必要と考える。また、地域ならではの企画やきめ細やかな住民対応は住民の身近にあってより充実した内容が期待できる。

地域局の機能充実と本庁の調整機能強化を基本に組織改編を検討してはどうか

町長 現場で町民の皆さんの声をしっかりと捉えて「まちづくり」を進

めることは奉仕者の原点であり、ご提言を踏まえて対応します。組織の改編についてはフラット化により横断的な連携、対応のスピード化を基本に考えています。地域の特性についてはご提言を含めて住民の満足度向上に繋がる機能的な各地域局組織を目指したいと思います。



光ファイバーは全町民の供用に

光ファイバー敷設についてその後の進捗状況はどうか。今、公共事業の



西坂 秀美 議員

### 光ファイバー敷設の進捗状況は 3区一体化の防災無線が先決です

入札は殆ど電子入札、福祉関係も補助メニューが増えつつある。地デジもテレビ組合の中では組合運営、維持管理はもう限界、これからは光との声。ネットで仕事をしている若者や区からも家の前をケーブルが通っているのになぜ使わせないのかと

の多くの声を聞く。町長は光ファイバーをどのように認識しているか。業者に自主整備を強く求めよ

信の格差が長期にわたります。行政支援での解消が必要ですが、多額の費用が必要で短期間では困難です。光通信の利用は増えていますが今は約10億円かけて3区の防災無線の一本化整備が先決と考えています。しかし、光は情報通信の基幹のネットワークだと思えますので整備はしなければならぬと考えています。

町長 本町では全所帯の24%、56集落でサービスが未提供です。業者の自主整備だけでは情報通



全面休診の決った原診療所



田野 哲夫 議員

病院・診療所の取り組みは①変則的時刻表による町民バスのピストン運行②医療と保健・福祉の一体化と特養などの連携③香住病院の産婦人科・小児医対策を集中的に行

町長 地域包括支援センターが中心となり3医

うことに尽きる。この抜本的対策の協議機関を早急に立上げ、徹底協議する考えはないか。4診療所は休診ばかりで方向が定まっていない。私の調査では4千400人の交通弱者と加えて医療弱者がどれだけのいるか、現状を把握する必要があるのではないかと。療機関（村岡・香住・小代）と特養・介護、保健施設・ケアマネージャー・保健師などによる地域ケア会議を行い活発な情報交換をしています。主に、高齢者健康情報・介護保険サービスの利用状況と個別支援会議の交換です。個人病院のような庭先送迎は難しいが、今後病院職員も入れた協議機関の立ち上げが必要か検討していきます。

### 医療弱者等、徹底協議する機関を 協議会を立上げるか検討します



人通りが少なく…



各地区有林の将来はあるのか

## 各地区有林の窮状をどうするのか 減免等を考える時期と思います



岸本 正人 議員

木材の収益はほとんど見込めない。各地区の高齢化、戸数減のなかでこんな負担を地元に残して、子や孫にまで強いていいのか。町は①縁故地使用料等の減免②生産森林組合から地縁団体への移行の支援③将来の抜本対策をどう考えるのか

各地区有林を実質的に所有している地区は約80集落ある。その縁故地使用料・固定資産税、法人関係税等の負担に各地区は大変な状況である。社会情勢の変化により今後

〔町長〕①減免も考える時期ではと思っております。②地縁団体への移行

支援につきましては総務課や各地域局で相談に応じさせていただきます。③香美町は86%が林野で占められていますので将来的な対策も本場に真剣に考えていきます。育った木材をどうして生かすかも大事であり、香住小学校建築に町内木材を使うことも方向性として出しており真剣に考えていきます。

## 消費税負担は 住民、商工業者 税率上げて、福祉財源確保を



山本 賢司 議員

消費税は、最終消費者である国民と税分を転嫁しきれない中小商工業者

の身銭で負担をしている。1997年には5%に増税、2003年には課税上の免税点が3千万円から1千万円に下げられ、業者からは、「これ以上増税されたら、事業をやめる」との声が出されている。

商工業振興策を展開す

る、と言っても、消費税が増税されれば、その努力はすべて吹き飛んでしまいかねない。財源確保のためには消費税増税を、では、大きな間違いを犯すことになる。

〔町長〕福祉向上は、財

源がなければ実行できません。福祉向上につながる消費税の上げ方をしたい。と共同通信のアンケートには答えています。零細商工業、住民をいじめる、とは考えていません。日用必需品の税率は上げるべきでなく、ぜいたく品に限った増税はいいのではな

いか、と考えています。



活性化が求められる



仕事おこして地域経済活性化



谷口 眞治 議員

円高・デフレで景気の悪化がさらにすすみ、中小業者はどの業界も厳しい

## 住宅リフォーム制度で仕事おこしを どんなことができるか検討します

い状況で、地域経済は不況のどん底だ。そんな今こそ、行政による仕事おこし・地域振興対策が求められている。緊急経済対策として、来年度予算

で地域経済への波及効果抜群の住宅リフォーム制度（住宅の修繕工事を町内業者に施行依頼するこ

とを条件に、一定額以上の工事に対して補助金を支給する）を導入すべき、町長の所見を問う

町長 香美町の住宅改修制度は、人生80年いきいき住宅助成、介護保険の助成、重度身障者への助成事業、水洗便所等改

修資金利子補給制度があります。住宅リフォーム制度は、雇用、バリアフリー化、水洗化の促進などかなりの効果が考えられますが、これまでにした工事との整合性を考えると難しいかなと思います。しかし、期待できる効果の中で、どんなことができるか、一度検討したいと思います。

## 町を元気にする活性化策を 過疎計画に沿って実行します



西村 伸一 議員

町民の皆さんから見て『香美町が発足して5年経過する中で議員や町長は今何をやるのかよく分からない』という言葉をよく聞く。町長も我々議員も行財政改革に取り

組んできて住民の皆さんへ負担をお願いしました。その結果着実に成果は上り実質公債費比率も改善されている。町民の皆さんが望む所は香美町を元気にするすなわち活性化策を行政に期待している。町長にその策を問う

町長 21年度決算に於いて早期健全化団体から脱却しましたので少しは町民の皆さんに明るさが

見える様な取り組みをと考えています。町の産業が今冷え込む中で産業の活性化を挙げており過疎計画に沿ってしっかりと実行していきます。その中でも地場産業の振興、学校施設の遅れ等々がありますので子供達が安心、安全で学べる環境づくりを今後の大きな柱としてすばらしい香美町を発信していきたいと思っております。

## その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
寺川 秀志	1. 香住小学校改築について 2. 入札の一元化について 3. 電器柵の補助金制度について
岡田 公男	1. 住民の暮らしを守る冬期除雪対応は万全か伺う
植田 隆博	1. 各種団体主催のイベントについて
小林 利明	1. 新年度事業について
田野 哲夫	1. 住民の足の確保とは、どのように考えているのか
西坂 秀美	1. 子供をもっと大切に作る町にしよう 2. 交通対策について
岸本 正人	1. ドクターヘリの着地点の整備について 2. 結婚対策について
山本 賢司	1. 第2次行革の目的を問う！ 2. 子育て支援策の拡充を求める 3. ごみ減量化推進、分別、資源化を進めよう 4. 社会教育、公民館活動の体制、県民交流ひろば事業との連携のイメージを問う
谷口 眞治	1. 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)について 2. 医療・買い物難民対策について
西村 伸一	1. 職員の意識改革は進んでいるのか
吉田 増夫	1. 現在の交通網(町民バス等)について



もっと捕獲を



吉田 増夫 議員

農作物の害獣駆除対策に猟友会の協力をえて駆除を行っているが、今年

**害獣の駆除と処理をどうする  
駆除と動物処理対策は急ぎます**

の状況を見ると、シカ、イノシシの農地を含む被害が多く見られる。①猟友会の高齢化も考え今後どのような駆除対策を考えているのか②駆除した動物の処理をどう考えているのか問う

**町長** 現在野生動物の

被害が多く、防除柵費も当初予算の3倍も4倍も申し込みがあり、今後積極的な駆除を考えています。協力をえている猟友会の高齢化と人数減少を踏まえ、町として狩猟マスター育成研修等にも支援し、職員に資格を取らせ駆除班等が出来ないか

検討しています。②処理については、県農林課等関係機関と連絡会議を持って先進事例調査の活用、調理研修を行なっています。早期実現の具体策は決っていませんが、来年度以降積極的な対策を考えています。

# ～わが町の農林水産業の未来は～

## 環太平洋戦略的経済連携協定 参加に反対する意見書

環太平洋戦略的経済連携協定(以下「TPP」という)は、例外品目なしに100%自由化を原則とするものであり、わが国の農林水産業はもとより、香美町の農業、畜産、漁業、地域経済も壊滅的な打撃を受けることは必至である。  
よって、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. 日本農業と地域経済を壊滅させるTPPには参加しないこと

### 質

問 参加した場合のわが町の影響は

答 北海道の指数であるが、農家数70%減となる見込みで、わが町の産業も大きな影響あり

### 疑

問 不参加の場合の影響は

答 経産省の発表では輸出産業が実質GDP1.53%の減により812,000人の雇用減と見込んでいる。

### 討

#### 反対討論 森 議員

環太平洋戦略的経済連携協定参加への不利益は意見書(案)の通りでもある。しかしわが国は輸出立国であるため自由化は避けて通れない面もある。国内の議論がもっと必要であり、現時点では反対である。

### 論

#### 賛成討論 小林議員

国民の利益、不利益を考えると参加をすれば悔やむことになると思う。

#### 賛成討論 山本議員

100%貿易自由化は、関税だけでなく医師や弁護士といった国家資格にかかわるものにも及ぶ。この国の形が変わってしまいかねない内容を含んでいる。

賛成多数で可決となる

## 米価の下落対策を求める意見書

生産者米価下落から稲作農家の経営と地域農業を守るため、国の責任で次の事項を緊急に実施することを求め、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. 今年産米の価格が大幅に下落する事態を招かないよう、適正な需給・価格環境を整備すること
2. 過剰米を主食用市場から隔離し、政府が買い上げること
3. 主食用米の買い入れなど、政府棚上げ備蓄を今年産米から前倒しして実施すること
4. 輸入米(ミニマムアクセス米)を適正管理すること

### 質

問 輸入米を適正管理することとは何か

答 輸入米を主食用として販売すれば、食用米価格が一層下落する。

### 疑

問 米の価格の下落は自由な作付による過剰米のせいでもあると思うが

答 米余りは、消費量の減少と供給過剰によるもの。

### 討

#### 反対討論 西川議員

戸別所得補償制度を前提としている。この制度は、米価下落を助長しかねない。よって反対する。

### 論

#### 賛成討論 山本議員

米価が下落すれば生産意欲が減退する。自給率を守るためにも賛成する。

#### 反対討論 西村議員

米価の下落は生産者自ら、生産調整をしなければ下落は止まらない。

賛成多数で可決となる

## 議案の審議結果

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名																
	寺川秀志	西坂秀美	田野哲夫	岡田公男	森利秋	岸本正人	植田隆博	谷口眞治	西川誠一	小林利明	上田勝幸	浜上勇人	山本賢司	西村伸一	吉田増夫	吉田範明	
11月臨時会	香美町町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	香美町一般職の職員に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○
12月定例会	町道の路線を認定及び廃止することについて	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度香美町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度香美町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度香美町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度香美町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度香美町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度香美町公立香住病院事業企業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成22年度香美町上水道事業企業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	米価の下落対策を求める意見書	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○
環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加に反対する意見書	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	

※全員が賛成の議案は、表示していません。 ※議長は採決に加わりませんのでーで表示しています。



# この人「ニューこがね座」あり

(香住区)

今回は沖浦区の青壮年の方たちが、地域の活性化また文化活動として劇団「ニューこがね座」を結成され、地域活動はもとより他地域へも幅広く活動を広げ、なんと出石永楽館で公演されたと聞き早速、劇団員の方々へ取材にお伺いしました。



## まず発足日、劇団名、座長を伺います

平成16年の秋祭りに発足し、名前は「ニューこがね座」といいます。座

## 劇団員の構成

(年齢・数 職業)は

沖浦区民の20歳〜50歳の約30名で活動しています。職業は水産物卸業、建築土木業、町職員、J

A職員、自営業等さまざまです。  
会費、運営費等は

長は村瀬弘次君にお世話になっていきます。  
また台本とか演出とか大変だと思いますが

劇団員の浦瀬克久君にすべてお任せしています。

どのような目的で「ニューこがね座」を結成されましたか

現在の劇団員が子供の頃には「こがね座」の公演がありました。途中中断していましたが、有志から村芝居を通じて団員相互の親睦と地域の活性化を目的として昔のように村を盛り上げたいとして結成しました。

毎年、秋祭りでの奉納村芝居で区民の方からお花をいただきます。そのお金で運営費を賄っています。本当にありがたい感謝しています。

劇団を運営する中で苦労がありましたら

毎年10月の秋祭りには沖浦三番叟(無形文化財)の奉納舞があるため、8月末から地域の子ども達に舞の指導をします。芝居の練習は、その後になるので毎晩遅く疲れませんが、地域のためだと思えば頑張っています。



沖浦区大放神社にて

今後の活動をどのように書いていますか

昨年11月に出石永楽館で公演しました。地区外の公演もオファーがあれば、公演したいですが、毎年地元で続けることが私たちの目標です。

地域との連携

(関わり)は

三番叟保存会、消防団子供会、山神会等に劇団員が加入していますので、地域の皆様とよく顔を合わしますので連携が取れています。

ニューこがね座の歩み

昭和60年沖浦区の青年団を中心に、劇団こがね座が結成され、秋祭りを盛り上げていたが、平成10年頃から活動が中断していた。しかし十年程前から地元青壮年から地域活性化の起爆剤として「こがね座」の復活を求める機運が高まった。村芝居を通して自分たちも昔のように地域を盛り上げてい。その声は日増しに強くなってきた。そして平成16年の秋祭りに劇団員相互の親睦と地域の活性化を目的として「ニューこがね座」を結成し、現在に至っている。主な演目 水戸黄門、遠山の金さん、桃太郎等 またニューこがね座の劇団員は、地域行事の中核を担って活躍している。



出石永楽館で熱演中の劇団員

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。経済は緩やかに上向している等々言われて来ましたが、地方ではその様な実感は全くなくデフレスパイラルに陥る中で公共事業は極端に減少し大変な生活苦の1年でした。今年こそ景気が良くなる事を願っています。

議会の様子を出来る限り判りやすく読んで頂ける広報紙を目指して編集を心がけていますが、議会に関して理解出来ないことなどがあればどしどし委員なり議会事務局にご一報ください。更に議会の活性化に繋げていける『議会だより』に努めたいと思っています。(N)

編集発行責任者

議長 吉田 範明

議会広報特別委員会

委員長 西村 伸一

副委員長 谷口 眞治

委員 寺川 秀志

委員 田野 哲夫

委員 岸本 正人

委員 植田 隆博

委員 吉田 増夫